



ミライアル株式会社 2011年1月期 第1四半期決算説明資料

2010年6月10日



ミライアル株式会社



目次

2011年1月期 第1四半期会計期間決算概要.....	2
2011年1月期業績予想	9
(ご参考)弊社を取り巻く業界環境	13
(ご参考)今期の施策	15



2011年1月期 第1四半期会計期間決算概要

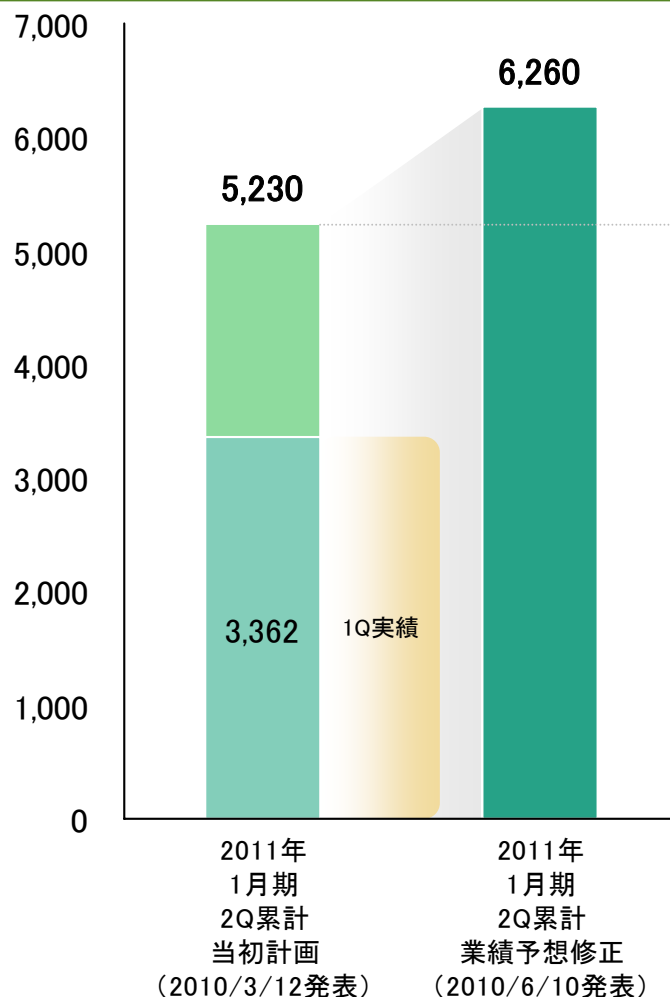
1. 業績予想修正について(2010年6月10日発表)

■ 売上高は、半導体業界の回復基調に支えられ、プラスチック成形事業は、全般に前年第3四半期から順調に推移いたしました。また、成形機事業は、設備投資も下げ止まりつつあり受注の回復感が見られるものの、依然として厳しい状態が続いています。前年同期比79.9%増、第2四半期計画比64.3%達成の33億62百万円となりました。

■ 経常利益は、売上高の増加、前年より実施した収益改善策の効果により利益率が回復し、前年同期は経常損失1億44百万円計上、第2四半期計画比96.9%達成の11億43百万円となりました。

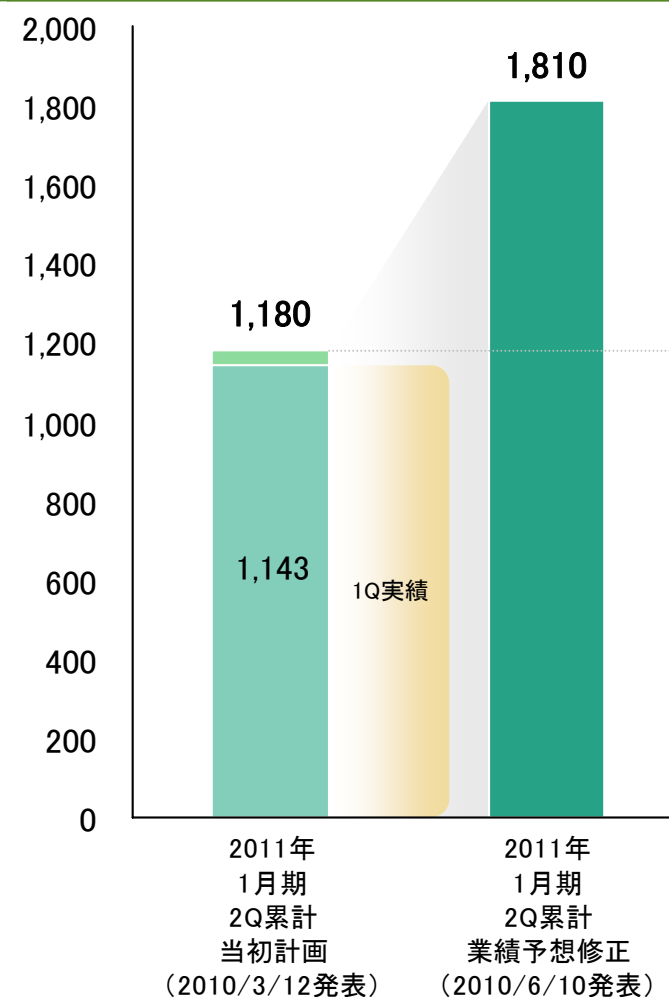
売上高

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



2. 2011年1月期 第1四半期会計期間決算概要

連結業績

(単位:百万円・%)

	2010年1月期 第1四半期会計		2011年1月期 第1四半期会計	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	1,869	△58.7	3,362	79.9
売上総利益	238	△85.7	1,472	516.2
営業利益	△203	-	990	-
(営業利益率)	-		29.4	
経常利益	△144	-	1,143	-
税引前当期純利益	△142	-	1,343	-
当期純利益	△160	-	813	-
設備投資	40		24	
減価償却	220		147	
純資産	13,909		15,491	
総資産	18,062		20,284	

個別業績

(単位:百万円・%)

	2010年1月期 第1四半期会計		2011年1月期 第1四半期会計	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	1,514	△60.1	2,800	84.9
売上総利益	198	△87.0	1,287	549.0
営業利益	△110	-	955	-
(営業利益率)	-		34.1	
経常利益	△85	-	1,050	-
税引前当期純利益	△87	-	1,251	-
当期純利益	△139	-	748	-
設備投資	37		6	
減価償却	210		137	
純資産	12,790		14,377	
総資産	15,227		17,808	

3. 事業別売上高の比較

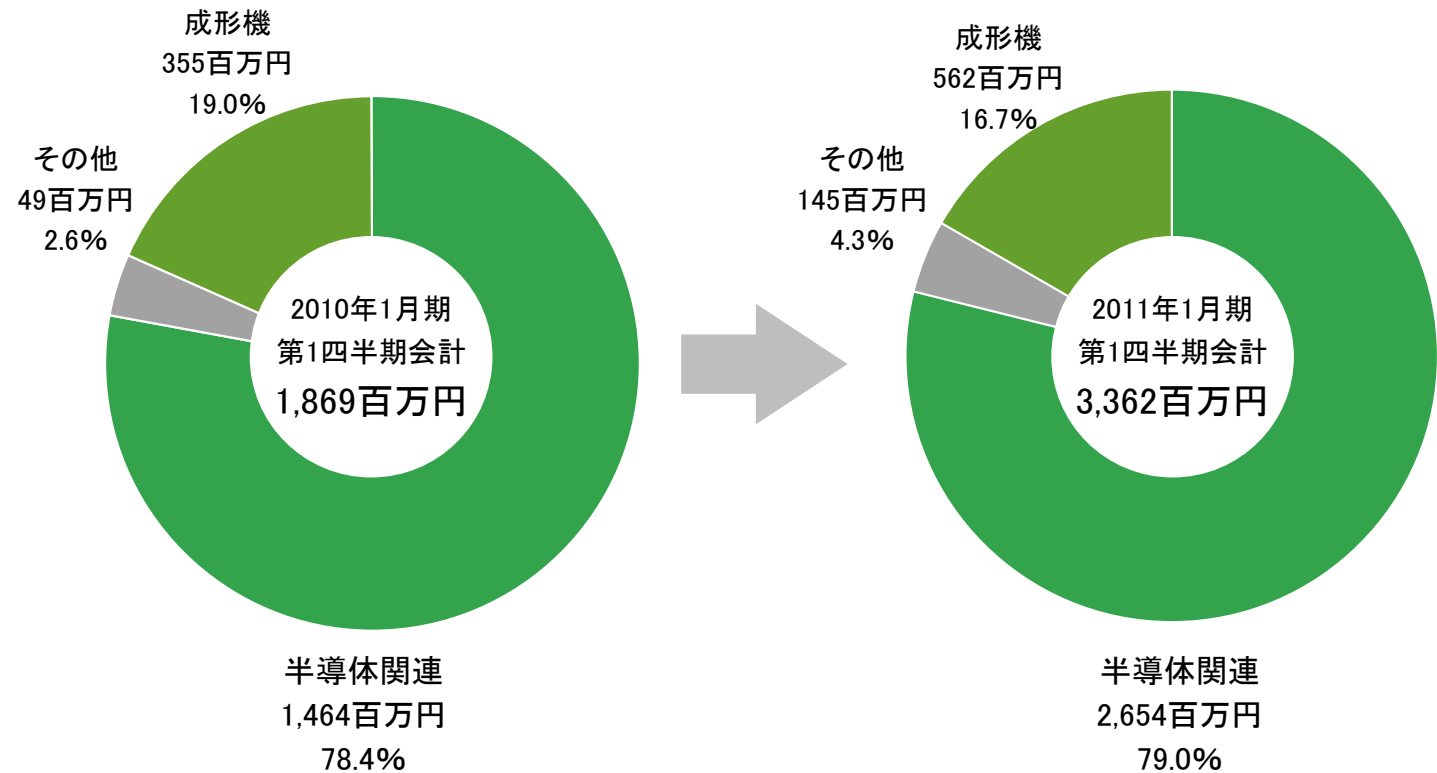
■ プラスチック成形事業

- 半導体関連事業について、前期後半からの需要回復に伴い、前年同期比81.2%増の26億54百万円。その他事業は、前年同期比194.2%増の1億45百万円となりました。

■ 成形機事業

- 成形機事業については、企業の設備投資が厳しい環境から一部回復の兆しもあることから、前年同期比58.4%増の5億62百万円となりました。

事業別売上高(連結)



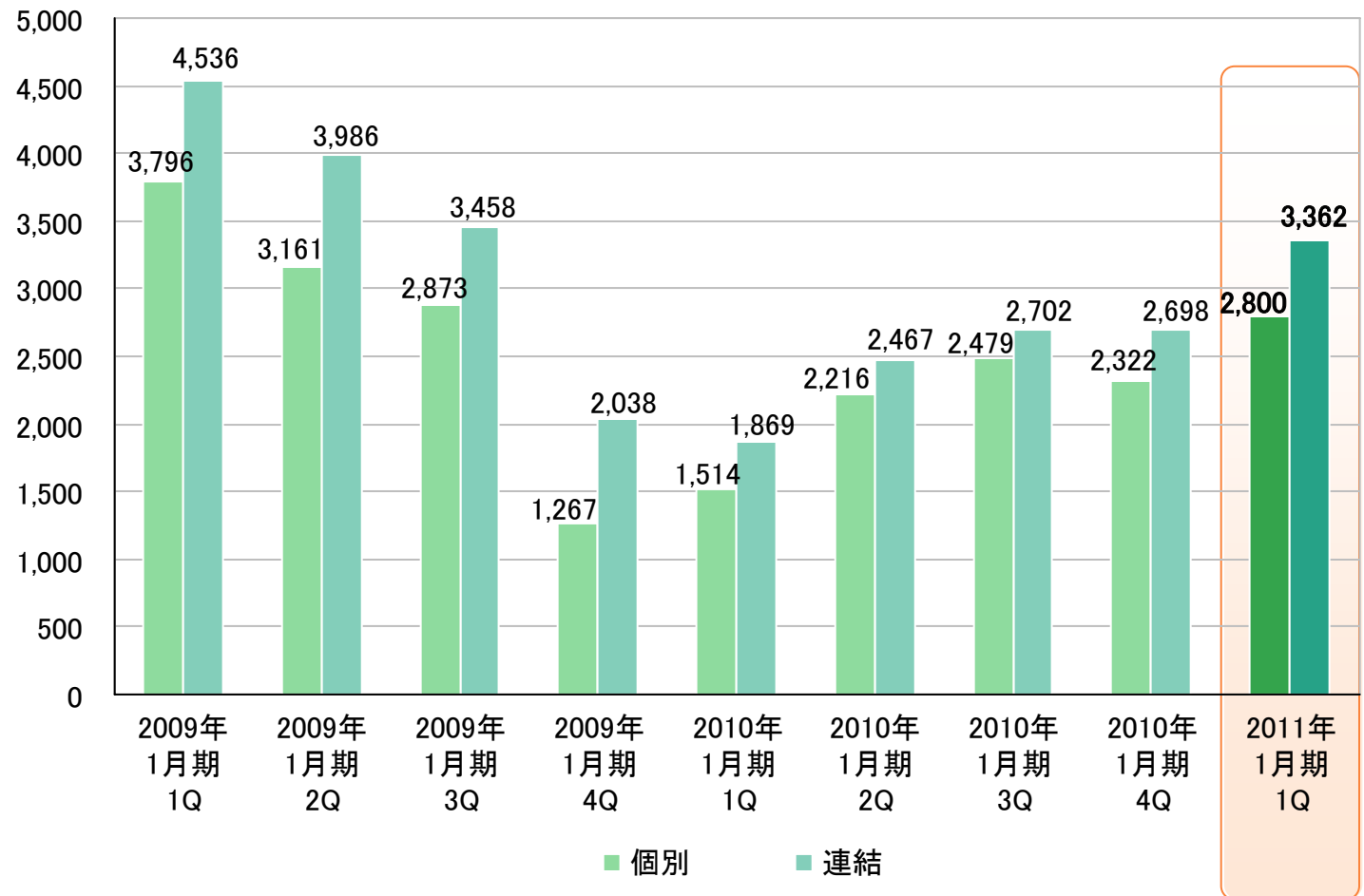


4. 四半期推移

- 連結売上高については、前期第4Qから24.6%増の33億62百万円でした。
- 個別売上高については、前期第4Qから20.6%増の28億円でした。
- ミライアル単体については、主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器「FOSB」は、シリコンウエハの需要量回復に支えられ出荷数量は大幅に増加しました。
- 連結子会社である(株)山城精機製作所についても、自動車関連やデジタル家電業界等の緩やかな需要回復により、設備投資も下げ止まりつつあり、厳しい環境から回復基調となりました。

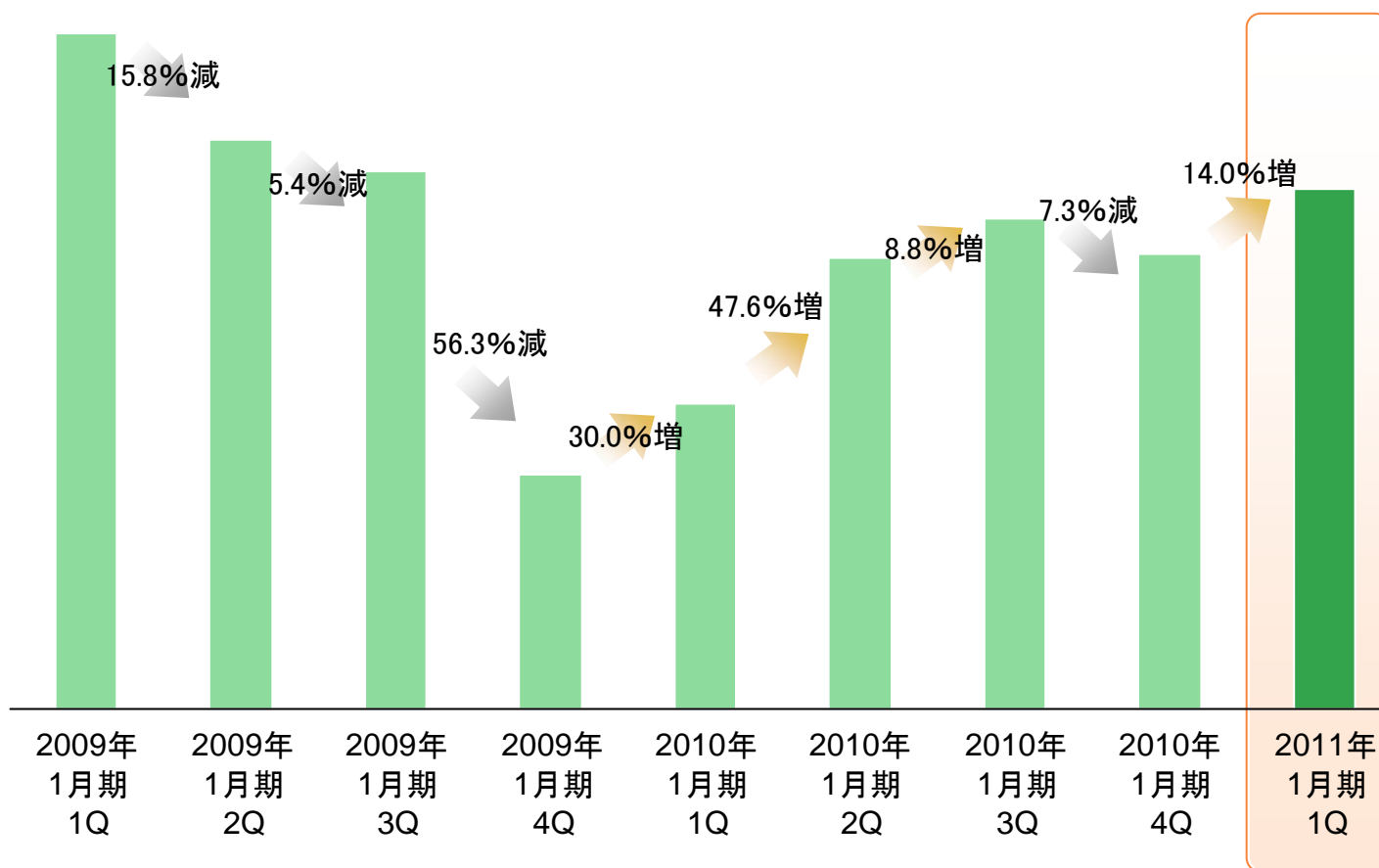
売上高推移(四半期毎)

(単位:百万円)



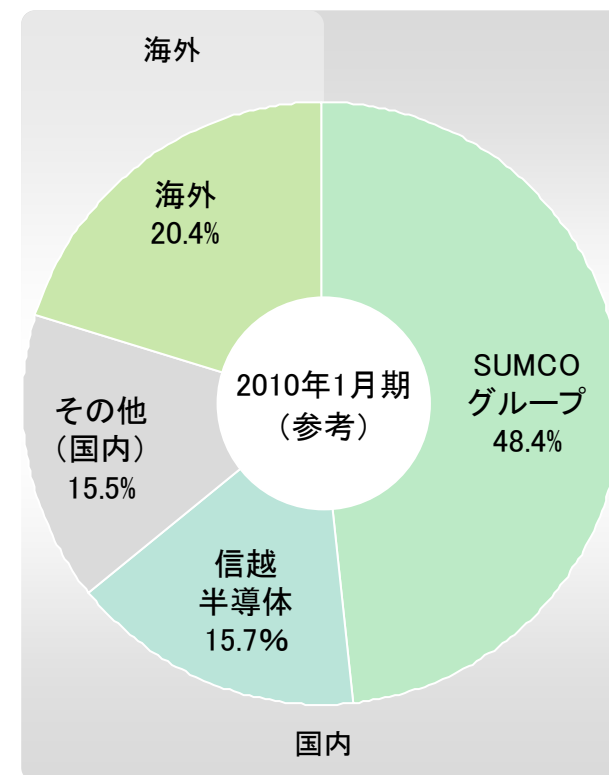
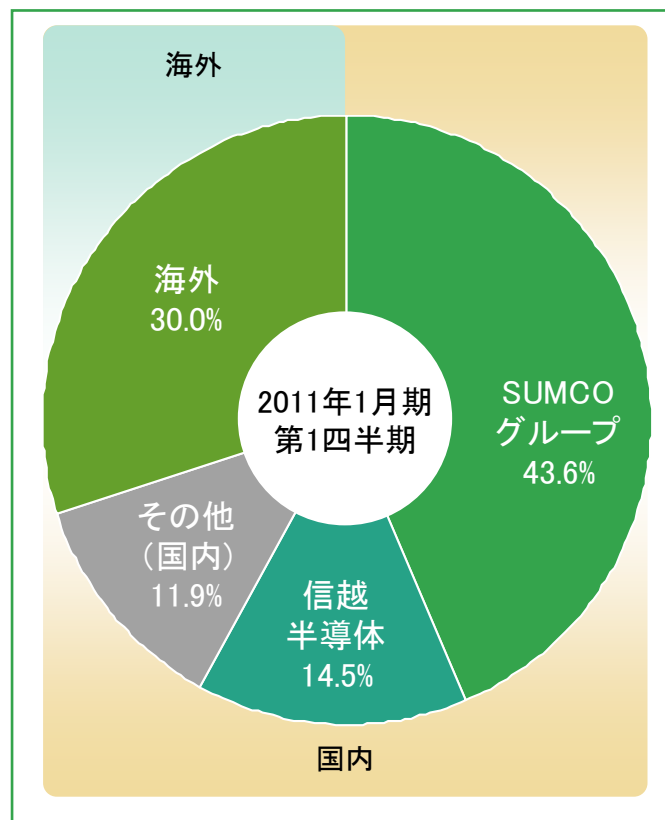
5. 半導体関連事業の業績


シリコンウエハ出荷容器 売上高の推移(四半期毎)



6. FOSB出荷実績得意先別シェア

弊社FOSB出荷実績得意先別シェアの動向





2011年1月期業績予想



1. 業績予想サマリー

売上高

- FOSBのマーケットについて、2010年度は、デバイスメーカーの増設が一部にとどまり、かつ微細化にともなって、ウエハの使用枚数は大幅な増加は見込めないと予想。
- 300mmウエハの出荷量は、月平均300万枚、前年比伸び率二桁前半と予想。
- FOSBのリユースについては、昨年前半より国内の一部デバイスメーカーが新たに開始し、足下で全体容器量の約30%位の使用量になっている見込み。今後も、急激な増加はないものの、比率は高まると予測する。
- 子会社の山城精機は、2010年度も自動車関連をはじめとした製造業の本格的な回復は望めないが、最悪期は脱し、黒字化を目指す。

経常利益、営業利益及び当期純利益

- 前年度の収益改善策の効果により、主力製品FOSB売上の営業利益率回復し、増益見込み。
- 生産体制の集約による効率化は、今年度も継続して実施する。
- 設備投資については、合理化及び品質維持に要する設備投資に限定。ただし、450mm関連は、投資継続

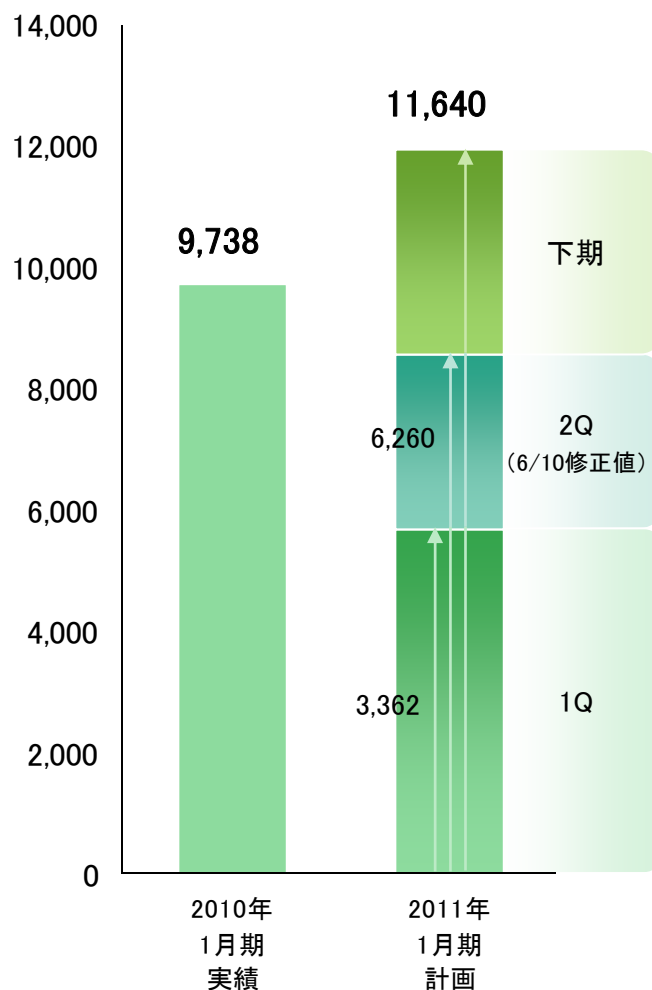
2. 業績予想サマリー

■ 売上高は、前年度から受注が回復し、第2四半期も堅調に推移するものと予想しております。第3四半期以降の下期は、欧州を中心とした海外景気の下振れ懸念などの状況から当初計画を踏襲いたしました。その結果、業績予想は、前年度比19.5%増の116億40百万円を予想しております。

■ 経常利益は、売上高の増加と、収益改善策の効果により、前年度比50.6%増の29億25百万円を予想しております。

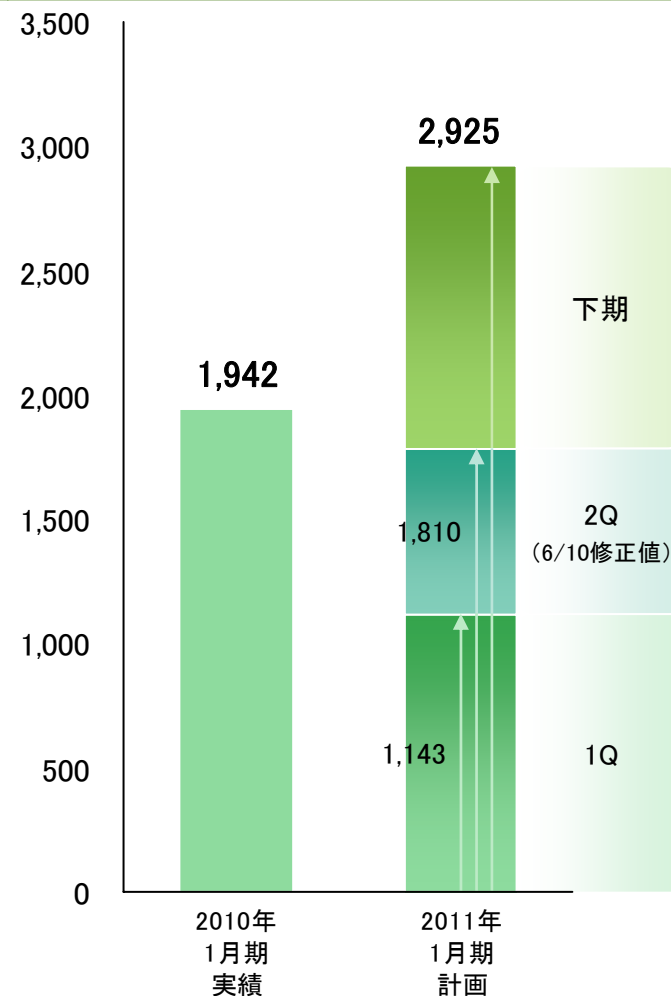
売上高

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



3. 業績予想

損益計算書(連結)


(単位:百万円・%)

	2010年1月期		2011年1月期(予)			
			2011年1月期 第2四半期累計			金額
	金額	前期増減率	金額	前期増減率	金額	
売上高	9,738	△30.5	6,260	44.3	11,640	19.5
営業利益	1,654	△21.2	1,650	522.2	2,710	63.8
経常利益	1,942	△16.4	1,810	329.8	2,925	50.6
(当期)純利益	953	△26.9	1,210	406.8	1,920	101.3

事業別売上高

(単位:百万円・%)

	2010年1月期			2011年1月期(予)					
				2011年1月期 第2四半期累計			金額	構成比	前期 増減率
	金額	構成比	前期増減率	金額	構成比	前期増減率			
プラスチック成形事業	8,531	87.6	△23.1	5,260	84.0	41.0	9,510	81.7	11.5
半導体関連	8,224	84.5	△22.2	5,010	80.0	38.7	9,070	77.9	10.3
その他	307	3.1	△41.0	250	4.0	110.3	440	3.8	43.0
成形機事業	1,206	12.4	△58.7	1,000	16.0	65.0	2,130	18.3	76.6
合計	9,738	100.0	△30.5	6,260	100.0	44.3	11,640	100.0	19.5



(ご参考) 弊社を取り巻く業界環境

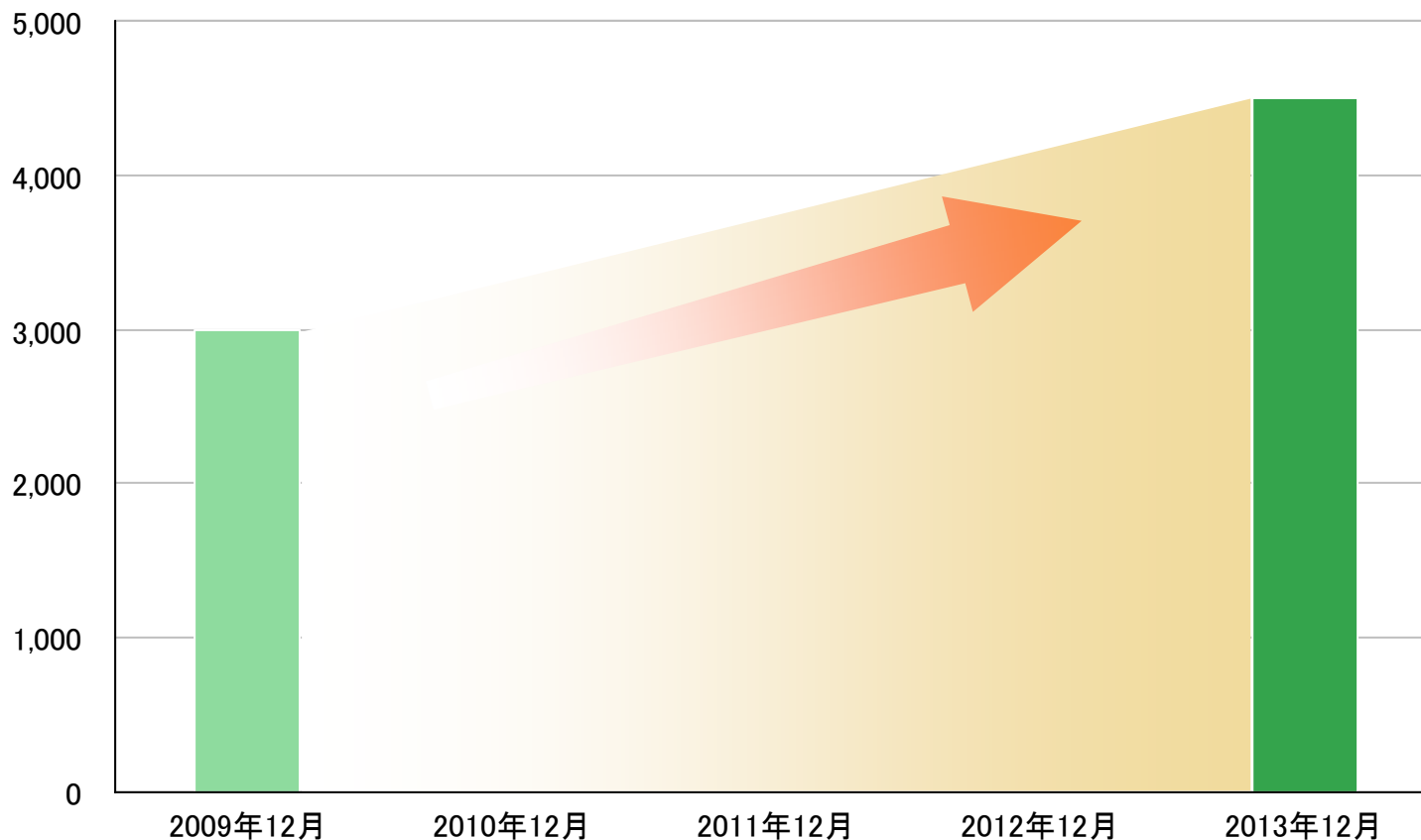


シリコンウエハ市場の動向


- 一時的な減退時期にはあるものの、半導体用途の拡大に伴い、シリコンウエハの需要は、300mmを中心に伸びていくと予想される

300mmウエハの需要予想

(千枚/月)



出所: 弊社推測



(ご参考)今期の施策



今期の方針

半導体関連事業

- ① 現存事業の安定化・売上拡大
- ② 新製品・新事業へのチャレンジ強化

成形機事業

山城精機の重点施策



製品戦略

現存事業の安定化

製品戦略

- 更なるコストダウンと品質向上への取り組み
- FOSBシェアの維持
- 450mmシリコンウエハ容器開発の推進

合理化戦略

- 容器事業以外製品の収益改善(低利益率製品の改善)
- FOSBリユースの対応準備



販売強化策

現存事業の売上拡大に向けた営業戦略

1

シリコンウエハメーカーへの積極的なアプローチ

品質維持・向上とコスト削減による競争力の強化

2

デバイスメーカーへの営業フォロー強化

半導体業界へのマーケット拡販

3

製・販・技一体となった高利益率製品の販売拡大



新製品・新事業戦略

新製品・新事業へのチャレンジ強化

新製品開発への積極投資

- 新規事業創出体制強化のため、事業開発室の新設

精密成形技術等への展開

- 山城精機製作所とのシナジー効果創出

半導体業界への拡販

- 後工程への展開、当社の派生技術での事業展開

多角化のための 新分野展開



山城精機の重点施策

「縦型機のNo.1メーカー」への 取り組み

- シェアアップ
 - 汎用成形機、LIM成形機、圧縮・トランスファー成形機
- No.1商品の創出
 - 新成形システムの開発企画推進

高効率生産体制の構築

- 少数精鋭での増産体制を構築
- 価格競争力を高め利益を極大化



本日はありがとうございました

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社 経理部

電話:03-3986-3782 FAX:03-3986-3853 E-Mail:ir-m@miraial.co.jp

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。